

## 平成 27 年度 第 3 回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

平成 27 年 11 月 19 日（木）18:30～20:20

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者	8 名…柏崎、岩堀、神津、西條、島田、妻沼、吉田、高橋
欠席者	3 名…澤田、井上、永野
事務局	2 名…市民生活課 山中、安陪
指定管理者	2 名…NPO 法人 YMCA コミュニティサポート 高橋、沼崎
傍聴者	0 名

- 配布資料
- 1 市民活動サポートセンター例月実績報告・利用者の声
  - 2 夏の市民活動・ボランティア体験 2015 報告
  - 3 のたろんフェア 2016 募集要項・写真コンクール・ミニミニ活動紹介展示募集チラシ
  - 4 サポートセンターにおけるマイク使用について
  - 5 サポートセンターデータベース登録・新規異動団体

### 1 報告事項

#### 1-（1）利用状況・利用者の声について

指定管理者及び市民生活課から資料 1 に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・月によって増減はあるものの 10 月までの利用者数は前年比微増。
- ・フリープラン講座の開催は順調だが、自主講座が伸び悩んでいる。
- ・年間を通してみると、利用者数推移に波がある。夏は毎年利用者が少ない。利用が落ち込む時期に焦点をあてて、底上げを図りたい。
- ・活動紹介コーナーはできるだけ空きがなくなるよう努力していきたい。
- ・電動裁断機を設置してほしいと意見をいただいたが、費用対効果を考えると導入は難しい。

（市民生活課：久里浜・追浜について）

- ・利用者数は、久里浜については前年度比微増。追浜は 7 月から 4 か月連続で減少。
- ・利用促進のため広報よこすか 9 月号に周知の記事を掲載したが、目立った効果はなし。
- ・9 月に印刷機の機器入れ替えを行った。不調もなく、概ね好評。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・利用者数の増減に波があることは承知だが、減少傾向にあるときの対策は考えているか。  
→汐入に関しては、利用者の少ない月にイベントを実施している。昨年は 8 月に子ども向け工作イベント「あつまれサポセン キッズひろば！」を開催し、前年度比が数 100 人増となった。今年は開催していないため、8 月の利用者数は一昨年並みと提供いただければよい。  
→イベントを企画し、できるだけ新しい方に利用してもらえよう考えている。（指定管理者）

- 久里浜・追浜は、昨年度から広報よこすかに記事を掲載するなどの方法で周知を図っており、今年度は印刷機入れ替えの時期にあわせて広報を行った。広報に掲載してからあまり時間が経っていないため、もう少し様子を見たい。（市民生活課）
- ・コミュニティセンター等に、久里浜・追浜にサポートセンターがあることを周知するポスター等を掲示してはどうか。コピー機や印刷機の使用ができることを知らない人が多いのではないかと。
  - 現在そういった周知はしていない。参考にしたい。（市民生活課）
- ・久里浜・追浜でイベントはできないのか。1～2団体に協力してもらおうというのはいかがかと。
  - イベントができるだけのスペースがない。また、汐入のように常駐のスタッフはおらず、併設している役所屋のスタッフが一次対応を行っている。イベントの開催ができるかは次の段階として、利用者数減への対策は考えていきたい。（市民生活課）
- ・汐入のサポートセンターに持ち込まれたポスター等を久里浜・追浜に共有することで、団体の情報を有効活用できるのではないかと。
  - 汐入で預かったポスター等をそれぞれへ送付便などで送ることは可能だろう。（指定管理者）
- ・曜日・時間別利用者数をみると、日曜日・月曜日の夜間利用が少ない。人件費や光熱水費などの経費を考えると、施設の運営方法を見直す必要があるのではないかと。
  - 配布した資料が10月分のみのため、分析にはある程度長い期間のデータを参照する必要があるが、日曜日の夜間に利用が少ないのはいつ見ても顕著。
  - サポートセンター開館時間については設立時に議論がされた。日曜日は閉館時間を早めている自治体も多くあるが、仕事が終わってからでも利用できるようにしよう、という話し合いがなされ現在の開館時間となった経緯がある。
  - しかし、経費等を考えると今後検討する必要があるのかもしれない。（指定管理者）
- ・市民の意見を取り入れて検討されたということはよいことだが、長期的にみて施設の運営に疑問が生じた場合は、再検討も視野にいれるべきではないかと。
  - 経費のみで判断してよいのかということもあるが、このような実態があることは認識していかなければいけないと思っている。（市民生活課）

## 1－（2）夏のボランティア・市民活動体験 2015 報告

指定管理者から資料2に沿って報告した。

（指定管理者）

- ・7月11日から8月31日までの期間で市内及び近郊で活動している31団体、40イベントが実施された。参加団体数は例年並みだが、よこすかボランティアセンター・生涯学習センターとの連携のほか、初めて参加する団体もあり広がりを感じられ、小学生からシニアまで幅広い世代の方に参加していただいた。
- ・関東学院大学と県立保健福祉大学の学生へ出張PRを実施し、多くの学生にも参加してもらったことで、団体から活動が明るくなったと嬉しい感想があった。しかし、なかには連絡をせずに欠席する学生もいたようだったため、学生に対するオリエンテーションをしっかりと行い、ボランティアといっても責任ある仕事であることを伝えていく必要があると感じた。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・1つでもよいので、懇話会メンバーにも体験に参加してほしい。

### **1－（3）のたろんフェア 2016 中間報告**

指定管理者から資料3に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・11月15日に参加団体一次募集締め切り、ミニ展示を除いたすべてのカテゴリで定員に達した。二次募集はミニ展示のみ。
- ・ステージは特に申し込みが多く、定員の倍の申し込みがあった。抽選による落選が少なくなるよう、事務局にて調整を行い、プレイベントか当日どちらかには参加できるようにした。
- ・新規団体の参加促進として、新規登録があった場合や窓口に来られた際に声かけを行った。新規もしくは昨年参加していない団体が12団体もあり、効果が得られている。
- ・フェアの当日の風景を撮影・応募し、後日投票を行う写真コンテストを実施していたが、フェア当日はどの団体も各ブースの活動を活発に行っていて、写真コンテストの応募数は伸び悩んでいた。今年は趣向を変え、普段の活動写真を事前に応募してもらう方式に変更。サポートセンターだけでなく、ショッパーズPR展示や市役所内での展示も行う。フェア当日も含め投票を実施予定。
- ・フェア当日には参加できない団体や、希望するカテゴリのない団体向けに、ミニミニ活動展示を実施。例年20～30団体の応募があり、活動紹介の場として需要がある。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・展示ブースを出ず団体は、説明者としてパネルの前に1人立ってもらうべきではないか。  
→それが望ましいが、現実的には難しい。説明者の対応ができない場合は「質問があればフリーマーケットブースに来てください」などとパネルに表示する方法をとっている。(指定管理者)
- ・フリーマーケットの商品が衣類ばかりだが、地域性のあるものを販売できないか。  
→なにを販売するかは各団体の判断になるため、内容を強制することはできないが、どの団体も活動資金を集めたいのは同じ。バラエティに富んだ物品を販売してはどうか、売上ランキングを発表するなどアイデアを提供することはできる。(指定管理者)
- ・駅へのポスター掲示を依頼してみてもどうか。

### **1－（4）サポートセンターにおけるマイク使用について**

市民生活課及び指定管理者から資料4に沿って報告した。

(市民生活課)

- ・市民の皆さまから市へ意見や提案を投書できる市民の声という仕組みを使って、サポートセンター利用団体から意見をいただいた。
- ・マイク利用の判断基準となる「講演会」と「説明会・学習会等」の見分けがつきにくいことと、他の利用者への配慮から、サポートセンターにおける今後のマイク使用は一律禁止とすることとした。

(指定管理者)

- ・マイクの使用頻度は、年間10回程度で、頻度としては多くなく、のたろんフェア等の説明会やNPO

支援学習会など、サポートセンター利用者にとって有益だと考えられる内容の活動においてのみの使用に限られていた。また、該当日に利用される方には説明を行っていた。

- ・一方で、利用案内では大きな音を伴う行為は禁止されており、相反する部分があった。
- ・マイク使用が必要な説明会・学習会等をサポートセンターで実施してきたのは、これまで利用したことのない人がサポートセンターへ来るきっかけになると考えているから。
- ・それを貴重な機会と捉え、利用者とお互いに融通しあいながら実施してきたが、このような意見をいただいたので禁止にせざるを得ない。今後の開催については別の方法も検討していく必要があると考えている。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・サポートセンターの広さであれば、説明者の声の出し方や、机・椅子の配置次第でマイクなしでも十分聞こえるのではないか。

## 2 議題

### 2- (1) データベース登録団体と公益性の判断について

指定管理者から資料5に沿って前回以降の新規登録・異動団体について説明した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・以前にもあったが、人数構成が未記入の団体がある。  
→団体が集まって協会を構成しているのだと思う。団体会員のため男女比算出は不可。(指定管理者)

### 2- (2) のたろんフェア 2016 への参加について

運営懇話会の PR を兼ねて、昨年度、懇話会として、のたろんフェアに参加した。今年度も参加するかどうか、またその方法について、意見交換をした。

(指定管理者)

- ・今回、参加団体の応募が非常に多く、懇話会分の展示パネルを確保できなかった。については、昨年行ったようなパネル展示は難しい。ミニ展示であれば可能。応募団体ができるだけ落選のないように、のたろんフェア実行委員会で調整を行ったので了承いただきたい。

(懇話会構成員・事務局からの質問・意見)

- ・懇話会メンバーが参加する目的は、懇話会そのものを知らない方へ知ってもらう機会を作るため。昨年度は懇話会メンバーであることを、のたろんバッチとパネル展示で宣伝し、活動内容を説明した。
- ・昨年度バッチを作成して着けたところ、来場者から声がかかりやすかった、と言われた。
- ・展示パネルが出せないとなると、昨年のように展示物を見てもらいながら説明するという方法がとれない。
- ・懇話会として運営ボランティアに参加登録するか。
- ・フェアの実行委員会が主。少しでも実行委員会の役に立てれば、という趣旨なのか、それとも懇話会は懇話会として別で宣伝を行うのか。
- ・これだけ大きなイベントなのでお手伝いしていきたい。

- ・パネル展示に関しては全体とのバランスをみて実行委員会に判断を任せてほしい。ただ、懇話会のメンバーであることをアピールするものはあったほうがよいのではないかと。自分の所属団体の活動もあると思うので、それとあわせてバッチをつけるなどして、それぞれが懇話会の PR をしたらよいのではないかと。(指定管理者)

話し合いの結果、裏方という形でフェアに協力していく、また当日は、昨年度同様に懇話会メンバーであることがわかるバッチ等を着用する、ということで合意した。

### 3 その他

#### **3- (1) サポートセンターからの報告事項**

指定管理者から当日配付資料に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・プロボノについて、今年度は2団体へのWEB ページ作成プログラムの支援を行っている。来年1月16日(土)に実績報告会を行う。
- ・企業・NPO・大学パートナーシップミーティングを9月28日(月)に実施。今後NPOだけではなく、企業や行政との活動を広げていきたい。現在、来年度に向けて、企業への広報を充実させるべく商工会議所と話し合いを進めている。
- ・11月28日(土)に横須賀『生涯現役』フォーラムを行う。また、ひくてあまた月間と銘打ち、フォーラム開催にあわせて12月まで協力企画を実施している。
- ・三浦半島キャンパス企画(仮称)について、サポートセンターのボランティアグループに登録をしている500名以上の学生が、さらにいろいろな場所で活躍できる場を作ろうと考えている。来年の目玉にしたい。県立保健福祉大、関東学院大、神奈川歯科大との連携を図っているが、来年度は横浜市大との連携も始めていきたい。

#### **連絡事項**

(事務局)

- ・第4回運営懇話会は平成28年2月25日(木)18:30~サポートセンターにて開催予定。

以上